

ともにつくる さばえ ともにえがく にっぽん



市民主役アワード2025授賞式

日時／11月23日(日)

[授賞式] 13:30開場 14:00開会 16:30閉会 ※参加費無料

[交流会] 17:00開場 18:00閉会 ※参加費500円

授賞式・交流会の
申込フォームはコチラ



会場／サバエ・シティーホテル「ブライトン」〒916-0027 福井県鯖江市桜町3丁目3-3

基調講演／『NPO法人 小さな種・こころ』清水 孝次 理事長

市民主役アワードとは

わたしたちが暮らす、あたりまえの日常。その日常は、誰かのちいさな行動に支えられています。市民主役アワードは、そんな市民の取り組みを全国から集め、地域の未来を自らの手で育てる市民の姿を称えることで「ありがとう」と「すごいね」を届ける場です。取り組みに共感し、称え合うことで「私にもできるかもしれない」という気づきと、「一緒にやってみたい」というつながりを鯖江の地から日本中に生み出します。

受賞者



まぐ

「誰もがなりたい自分になれる社会」を目指し、子どもの創造性や可能性を育む体験型イベントを月1〜3回開催。年間1,000人以上が参加し、地元企業・大学生と連携して将来の選択肢を広げる機会を提供。代表の大平氏は公務員として働きながら地域活動や学生支援にも尽力している。



青のたすき

開校した小学校の校庭で映画を上映する『あおの星空映画館』や棚田コンサート、人工林の皮むき間伐や竹活用ワークショップを開催。子どもから大人まで皆で地域の「困った」を楽しく解決する場を創出し、次世代育成を含めた持続可能なコミュニティづくりを促進。



後藤 美佳

元信用金庫を活用した「FUJIONE WORKATION PLACE」を運営し、コワーキング・シェアスペース・ゲストハウスを融合。女性リモートワーカー育成や多様な働き方を支援する「ふくいテレワーク女子」を立ち上げ、地域経済の活性化と人材育成に貢献。ワーケーションを通じて地域内外の交流も促進。



さばえまつり実行委員会

「つくる」を祝う祭典。市民100人以上が企画・運営に参加し、高校生から70代まで幅広い世代が関わる。第2回は会場に、3つの仮想のまちが誕生。鯖江の暮らしを語り直す巨大紙芝居の〈イッココ村〉、繊維廃材から生み出す幻の城〈マッココ町〉、鯖江の色がはためく100色の帆〈スココン港〉が広がった。



ミライミガキ

廃材を使ったゲームやおもちゃで子どもに環境問題を楽しく啓発。ペットボトル楽器を奏でて海を汚すモンスターを倒す新感覚プログラミングゲームやクレーンゲームを自作し、イベントや福祉施設で実施。メガネフレームの廃材も活用し、地域資源の循環にも貢献。



主催＝市民主役アワード実行委員会 後援＝鯖江市

お問い合わせ

事務局＝鯖江市市民主役推進課(担当／竹内) TEL:0778-53-2214

〒916-8666 福井県鯖江市西山町13-1 鯖江市役所内

